

2026 年 8 月 24 日

各位

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

「AI ポリシー」の制定について

ほくほくフィナンシャルグループ（取締役社長 中澤 宏）は、グループ全体における AI（人工知能）の適切な利活用に関する基本方針として、「AI ポリシー」を制定しましたので、お知らせいたします。

当社グループでは、2026 年 6 月 23 日に新設した「AI 戦略部」を中心に、グループ全体の AI 戦略の策定・実行とガバナンスの強化を進めております。今後も、安全かつ責任をもって AI を活用し、地域社会の持続的な発展とお客さまの利便性向上に貢献してまいります。

記

1. 背景と目的

AI 技術の急速な発展に伴い、金融業界においても、AI 技術を活用した業務効率化と営業力強化による生産性向上が期待されています。一方で、AI の利用にあたっては、誤情報・偽情報の生成、偏り（バイアス）による不公平、プライバシー侵害、セキュリティ事故、説明困難性、誤判断の誘発等のリスクへの適切な対応が求められています。このような状況を踏まえ、当社グループでは、AI の適切な利活用に関する基本方針として、「AI ポリシー」を制定いたしました。詳細は別紙をご参照ください。

2. 具体的な取り組み

当社グループの北陸銀行および北海道銀行では、「AI ポリシー」に基づき生成 AI を安全かつ責任をもって活用するため、Azure OpenAI Service を基盤とした「Third AI 生成 AI ソリューション」を導入し、セキュアな環境で生成 AI を使用しています。両行では、資料作成、文書要約・検索、情報整理、アイデアの壁打ちなど、日常業務のさまざまな場面で生成 AI を活用し、業務効率化・高度化による生産性向上に取り組んでいます。なお、生成 AI の利用にあたっては、個人情報や機密情報の取り扱いに十分配慮し、当社グループの規程および許可された環境・手順のもとで運用しています。

3. 該当する SDGs の目標



SDGs は Sustainable Development Goals の略称で、2015 年に国連で採択された 2030 年までに達成すべき 17 の目標と 169 の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは 2019 年 4 月に「SDGs 宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

ほくほくフィナンシャルグループ AI 戦略部 TEL : 076-423-7331

ほくほくフィナンシャルグループ「AI ポリシー」

ほくほくフィナンシャルグループ（以下、当社グループ）は、「地域を超えて、輝く未来を創る。あなたとこのまちの嬉しいが、私たちの一番。」というパーパス・クレドのもと、地域社会の持続的な発展とお客さまの利便性向上に資することを目的に、AI（人工知能）の活用を積極的に推進いたします。一方で、AI の利用には、誤情報・偽情報の生成、偏り（バイアス）による不公平、プライバシー侵害、セキュリティ事故、説明困難性、誤判断の誘発等のリスクが伴い得ることを認識しています。

当社グループは、法令や規範を遵守し、AI を安全かつ責任をもって活用するため、本ポリシーを定め、適切なガバナンスのもとで AI を活用してまいります。

1.人間中心の原則

当社グループは、すべての人々の尊厳と個人の自立を尊重し、差別、ハラスメント、誹謗中傷など、人権侵害に繋がるような AI の利用は行いません。人々の可能性を広げ、意思決定を支援し、能力を補完し拡張するための技術として、AI を活用します。

2.公平性への配慮

当社グループは、AI が生成する回答に誤情報や偏りが生じる可能性を十分に考慮し、お客さまに対して不当な差別や不利益が生じないよう、出力結果の検証と精度の向上に努めます。重要な判断においては、人が適切に関与し、必要に応じて介入できる状態を確保します。AI の利用が社会や地域に与える影響を常に考慮し、ステークホルダーの信頼を損なうことがないよう、誠実に運用します。

3.法令遵守とコンプライアンス

当社グループは、AI の利用にあたり、関連する法令、監督上の要請、業界ガイドラインその他の規範および当社グループ各社の規程を遵守します。また、第三者の権利を尊重し、著作権・知的財産権等の侵害を招かないよう配慮するとともに、AI の不正・不当利用を防止するためのガバナンスを整備します。

4.プライバシーの保護

当社グループは、お客さまからお預かりした大切な情報を守ることを最優先と捉えております。個人情報を含む顧客情報、機密情報、未公開情報の取り扱いは、法令および当社グループ各社の規程に従い、目的に応じた最小限の取得や利用に限定します。

5.安全性とセキュリティの確保

当社グループは、AI の導入および運用にあたっては、用途に応じたリスク評価を厳格に行い、必要な安全対策を講じます。AI に入力する情報は、許可された環境・手順でのみ取り扱います。不適切な利用や外部からの脅威に対しては適切な対策を講じ、インシデント発生時には迅速に対応します。

6.透明性と対話の推進

当社グループは、AIを利用する範囲や目的について、ステークホルダーに分かりやすく説明を行うよう努めます。AIによる判断理由や根拠について、合理的な範囲で検証可能性や追跡可能性を確保し、AIの利用による様々なリスクに対応できるよう、AIガバナンス体制を構築します。

7.教育の充実とリテラシーの向上

当社グループは、役職員一人ひとりがAIを安全かつ適正に活用できるよう、必要な教育や研修を継続的に実施し、ガイドライン等を整備します。AIに関する知識とリテラシーを高めることで、技術の利便性を享受しつつ、そのリスクを適切にコントロールできる組織体制を構築します。AIとの共創を通じて、役職員が持てる能力を最大限に発揮し、より質の高い金融サービスを提供できる環境を整えます。

8.公正競争確保とイノベーション

当社グループは、AIの活用を通じて、自らの生産性向上や金融サービスの高度化、地域課題の解決など、地域社会に新たな価値を提供し、イノベーション促進に貢献します。AIの活用にあたっては、公正な競争環境を尊重し、独占的・排他的な取り扱いや不公正な取引慣行を増長しないよう配慮します。また、技術進歩や社会要請、規制動向なども踏まえて、本ポリシーおよび運用を継続的に見直します。